

平成 28 年 3 月 1 日

各 位

株式会社グリーンペプチド
代表取締役社長 永井 健一
(4 5 9 4 東 証 マ ザ ー ズ)
問合せ先 取締役管理部長 酒井 輝彦
T E L : 0 3 - 5 8 4 0 - 7 6 9 7

**神奈川県川崎市－キングスカイフロント－で整備が進む再生・細胞医療の産業創造拠点
「ライノベーションセンター（仮称）」に研究拠点を設置**

この度当社は、神奈川県が再生・細胞医療の産業創造拠点として整備を推進しているライノベーションセンター（仮称、本年 4 月竣工予定）内に、がん免疫治療薬の研究拠点を新たに設置することになりましたことをお知らせいたします。

がん治療の切り札として日進月歩の進展を見せるがん免疫治療薬は、当社が手掛けるがんペプチドワクチン以外にも、免疫チェックポイント阻害抗体、T 細胞受容体遺伝子改変 T 細胞（細胞医療）等、色々な形態で開発が進められています。当社も、がん免疫治療薬の開発領域の拡張を視野に入れ、現在臨床段階にあるがんペプチドワクチン ITK-1(国内第 III 相試験)、GRN-1201(米国第 I 相試験)に続く新規パイプラインを創成してまいります。

当社の新世代のがん免疫治療薬の研究拠点としてふさわしい場になると考えているライノベーションセンターは、再生・細胞医療の産業創造拠点として様々な企業・研究機関が集結し、本邦最先端の技術が交流するオープン・イノベーションの場として多くの注目を集めています。また、国家戦略区への指定のもと、各種規制緩和、税制、金融等の幅広い優遇措置を背景に、官民一体となった研究開発を進めることができます。

当研究拠点は本年 6 月頃の稼働を予定しており、当社はここで、新規パイプライン創成につながる基礎的な研究開発、日本・海外を問わず外部研究機関との共同研究、技術導入等を行う予定です。

■ ライフイノベーションセンターパース

■ 施設概要

所在地	神奈川県川崎市川崎区 殿町三丁目
施設規模等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地面積 8,000 m² ・ 地上 4 階建 ・ 延床面積約 16,000 m² ・ ウェットラボ仕様

■ 代表取締役 CEO 永井 健一 のコメント

ライフイノベーションセンター内への新研究拠点開設を大変喜ばしく思っております。当社は、当センターに構える研究ラボを重要拠点として位置付け、新たながん免疫治療薬の開発の可能性を模索することで、今後の事業領域の拡大と企業価値の最大化に努めてまいります。

(参考)

神奈川県記者発表資料 (入居事業者 第二弾を発表)

<http://www.pref.kanagawa.jp/prs/p1005117.html>

再生・細胞医療の産業化拠点「ライフイノベーションセンター (仮称)」の整備・運営について (神奈川県)

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f531405/>

■ 株式会社グリーンペプチドについて

当社は、人が本来備え持つ免疫機構を利用してがんを治療する、「がん免疫治療薬」の研究・開発を行う創薬ベンチャーです。手術、放射線でがんを殺傷する放射線療法、抗がん剤による化学療法に加え、「第 4 の治療法」として注目されるこの方法は、本来体が持っている免疫力を活かして治療するため、一般的に治療に伴う体の負担を緩和すると言われております。

当社は、現在治験を実施している 2 本のパイプライン (前立腺がんを対象とする ITK-1、メラノーマ (悪性黒色腫) を対象とする GRN-1201) を中心に、日本から世界へ新規のがん免疫治療薬を発信していくことを目指しています。